

今回の日本CIO協会ビジネスウェビナーは

「ヘルスケア産業のトップイノベーターを目指す 中外製薬のデジタル革新の取り組み」を考える

2020年DX銘柄に選定された中外製薬では、創薬という製薬企業の根幹事業に変革をもたらそうとしている。通常13年かかると言われている新薬創出の常識をデジタルによって変えようとしているのだ。その基盤をつくるため、中心人物となっているのが、2019年5月に日本IBMから転職し、現在IT統括部門をリードする志済聡子氏である。デジタル基盤を整え、これまでの組織風土を変革。DX（デジタルトランスフォーメーション）とITの両面から取り組む改革についてお話いただきます。



志済 聡子 氏

中外製薬株式会社 執行役員
デジタル・IT統括部門長

—プロフィール—

1963年 北海道根室市生まれ
1986年 北海道大学法学部 法律学科卒業
1986年 日本アイ・ビー・エム株式会社入社
2007年 ソフトウェア事業 理事インダストリーSW事業部長
2008年 IBM Corporation (NY) に出向
2009年 執行役員公共事業部長就任（政府・医療・製薬）
2015年 執行役員 セキュリティ事業本部長
2019年 中外製薬株式会社 執行役員 デジタル・IT統括部門長

<その他>

- 北海道大学 新渡戸カレッジ フェロー
- 内閣サイバーセキュリティ戦略本部 専門調査会委員
- Society5.0時代のデジタル・ガバナンス検討委員

—開催概要—

【日時】 2021年 5月11日（火）11：00～12：30 （zoom 10：50開場）

【方法】 zoomウェビナー方式

【参加費】 無料

【お申し込み】 URL：<https://sf.pasonatech.co.jp/l/892311/2021-03-31/d6j9x>

【お問い合わせ先】 info@jscio.org